

卒業生の方へ

## 日本学生支援機構給付・貸与奨学金（予約採用）の案内について

本校卒業後2年以内の方で、今年度（R6年度）大学、短期大学、高等専門学校（4年生）、専修学校（専門課程）に進学を予定している方は下記奨学金（予約採用）に申し込むことができます。（R7年度進学予定者が対象です）

### 1 奨学金の種類について

奨学金の種類		金額	
		支給方法	支給額
給付型（原則返還不要）		月額	学校の種別、設置者、通学形態等による※1
貸与型	第一種（利子なし）	月額	学校の種別、設置者、通学形態等による※2
	第二種（利子あり）	月額	2~12万円の中から1万円単位で選択
	入学時特別増額貸与（利子あり）	一時金	10~50万円の中から10万円単位で選択

※1

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円
第Ⅱ区分	19,500円	44,500円	25,600円	50,600円
第Ⅲ区分	9,800円	22,300円	12,800円	25,300円
第Ⅳ区分	7,300円	16,700円	9,600円	19,000円

第Ⅰ～第Ⅳ区分は所得金額による区分（詳しくは給付奨学金案内参照）

※2

大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
国公立		私立		国公立		私立	
自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
30,000円	40,000円	40,000円	50,000円	30,000円	40,000円	40,000円	50,000円
20,000円	30,000円	30,000円	40,000円	20,000円	30,000円	30,000円	40,000円
	20,000円	20,000円	30,000円		20,000円	20,000円	30,000円
			20,000円				20,000円

月額を選択（詳しくは貸与奨学金案内参照）

※詳細は日本学生支援機構ホームページに掲載してあります。

必ず確認してください。

## 2 支給基準について

### 1) 給付奨学金

学力	次の①、②のいずれかを満たすもの ① 高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均が、5段階評価で3.5以上 ② ①に該当しない場合、将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること（レポート・面談を課すこともある）
家計	次の①、②の両方を満たすもの ① 収入基準 申込者（生徒）・生計維持者（父母等）の所得等に基づき住民税非課税又はそれに準ずる世帯と認められること（詳しくは給付奨学金案内参照） ② 資産基準 申込者（生徒）・生計維持者（父母）の資産の合計が一定額未満（※3） ※3 生計維持者が1人の場合1,250万円、2人の場合2,000万円

### 2) 貸与奨学金

学力	第一種	①、②のいずれかを満たすもの ① 高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均が5段階で3.5以上のもの ② ①に該当しない場合、下記ア～ウのいずれかに該当し、かつ将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること（レポート・面談を課すこともある） ア. 貸与額算定基準額が0円となる人 （貸与額算定基準額についてはホームページで確認する） イ. 生活保護世帯の人 ウ. 社会的養護を必要とする人（児童養護施設在籍者など）
	第二種	①～③のいずれかを満たすもの ① 高等学校等における申込時までの全履修科目の学習成績が平均水準以上である ② 特定の分野において、特に優れた資質能力を有すると認められる ③ 大学等における学修に意欲があり、学業を確実に終了できる見込みがあると認められる（レポート・面談を課すこともある）
家計	第一種	生計支持者（父母）の年収が第一種奨学金の収入基準以下である（※4）
	第二種	生計支持者（父母）の年収が第二種奨学金の収入基準以下である（※4）
	併用	生計支持者（父母）の年収が併用貸与の収入基準以下である（※4）

※4 詳細は貸与奨学金案内を参照

上記奨学金を希望される方は奨学金担当者（教務部：福田）へ電話連絡の上、

5月21日（火）までにご来校ください。